

PDA診療ガイドライン作成と標準化

J-PreP Guideline

日本未熟児新生児学会・標準化検討委員会
未熟児動脈管開存症診療ガイドライン作成チーム

J-PreP Guideline Team

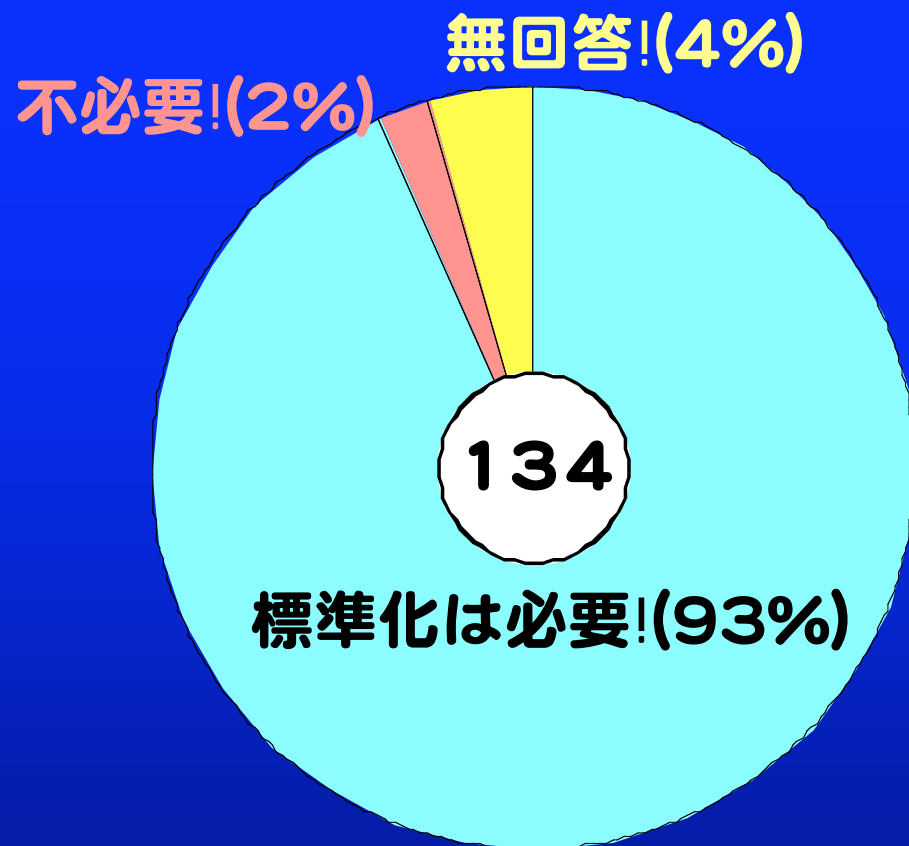
豊島勝昭

J-PreP結成の経緯と活動状況

2005年

未熟児新生児学会評議員アンケート

新生児医療に標準化は必要か？



NICU医療の標準化は全国評議員の総意！

2006年 1月

未熟児動脈管開存症のガイドラインの提案



東京女子医大
楠田先生

与田仁志（日赤医療センター）

豊島勝昭（神奈川県立こども医療センター）

増本健一（静岡県立こども病院）

青柳裕之（東京女子医大病院）

関東のNICU臨床現場の新生児科医4名でスタート

2006年未熟児新生児学会総会 特別シンポジウム

「医療の標準化による新生児医療の今後を探る」

- 1. 新生児医療の施設間格差**
東京女子医科大学母子総合医療センター 佐久間 泉
- 2. 新生児医療標準化のために必要な手法**
洛和会音羽病院 福岡敏雄
- 3. 周産期医療の標準化の実情 豪州・英国からの報告**
英国国立母子保健共同研究所 森臨太郎
- 4. 医療の標準化が必要な理由**
導入された新生児医療現場のあり方
兵庫県立こども病院新生児科 中尾秀人
- 5. 未熟児PDAの診断と治療の標準化の具体例**
神奈川県立こども医療センター新生児科 豊島勝昭

2006年未熟児新生児学会総会 特別シンポジウム

「医療の標準化による新生児医療の今後を探る」

1. 新生児医療の施設間格差

東京女子医科大学母子総合医療センター

佐久間 泉

2. 新生児医療標準化のために必要な手法

洛和会音羽病院

福岡敏雄

3. 周産期医療の標準化の実情 豪州・英国からの報告

英国国立母子保健共同研究所

森臨太郎

4. 医療の標準化が必要な理由

導入された新生児医療現場のあり方

兵庫県立こども病院新生児科

中尾秀人

5. 未熟児PDAの診断と治療の標準化の具体例

神奈川県立こども医療センター新生児科

豊島勝昭

1年間には具体例は作れず。

2006年の未熟児新生児学会シンポジウム

4人で108論文：集めて、読んで、抄録作成、吟味



日赤医療センター 与田仁志



静岡こども循環器科 増本健一

PDAガイドライン検討チームの日常



神奈川こども 豊島勝昭



東京女子医大 青柳裕之

＜PDAは専門でも、〈時間〉と〈臨床疫学の知識〉が不足！。＞

＜少人数の努力と根性だけでは良いEBMガイドラインは作れない！＞

2006年12月

挫折

- 人員が少ない。
- 時間がない。
- 図書館がない。
- 臨床疫学の知識がない。
- 予算(30万円以内)がない。
- 様々なEBMガイドラインへの反対意見多数！
- 計画の変更ない。

正直、どうしていいか。。。わかりませんでした。

2007年1月

再チャレンジ

・ 人員が少ない。

協力者の大募集（人海戦術）

・ 時間がない。

・ 図書館がない。

図書館員のスカウト

・ EBMの知識がない。

EBMがわかる医師のスカウト

・ 予算（30万円以内）が少ない。インターネット利用

・ EBMガイドラインへの反対意見多数！

・ 計画の変更ない。

〈ガイドライン叩き台〉

NICUでガイドラインを作るための組織・方法論を探す。

2007年

協力者の大募集

NICUフォーラムメーリングリスト
周産期循環管理研究会メーリングリストで公募！
各地のEBM勉強会（月1-2回）で随時募集

経験、世代、地域、施設、学閥、職種、役職、を問わず、
力を貸してくれる意志のある方を募集！

<使いたい人が作成に関わる方が実践的なものになるはず>
<作成段階から関わることで標準化の意味を皆で考える>

同志 (41施設・66名)

〈海外組〉

イギリス
森臨太郎
加藤丈典

スウェーデン
佐藤義朗

カナダ
新津健裕

〈国内組〉

大阪
森臨太郎
南 宏尚
西原正泰
大橋 敦
甲斐明彦
高野 勉
諫山哲哉
西澤和子
坂野公彦
野崎昌俊
豊奈々絵
白石 淳
平野慎也
諏訪敏幸

兵庫
山川 勝
芳本誠司

福井
古畑律代
徳力周子
巨田尚子

長野
三ツ橋偉子
赤澤陽平
松井美優

新潟
臼田東平
小林 玲

北海道
長屋 建
小林正樹

宮城
千葉洋夫
渡辺達也
今井香織

福島
郷 勇人
金井祐二

埼玉
増谷 聡
山口直人
森丘千夏子
佐久間理奈

東京
与田仁志
青柳裕之
長島達郎
春原大介
西田俊彦
岡野恵里香
小林正久
高見 剛
滝 敦子
阿部信一

島根
田村明子

岡山
福岡敏雄
徳増裕宣

福岡
高橋大二郎

熊本
川瀬昭彦
横山晃子
田仲健一

京都
川北理恵
山村玲理

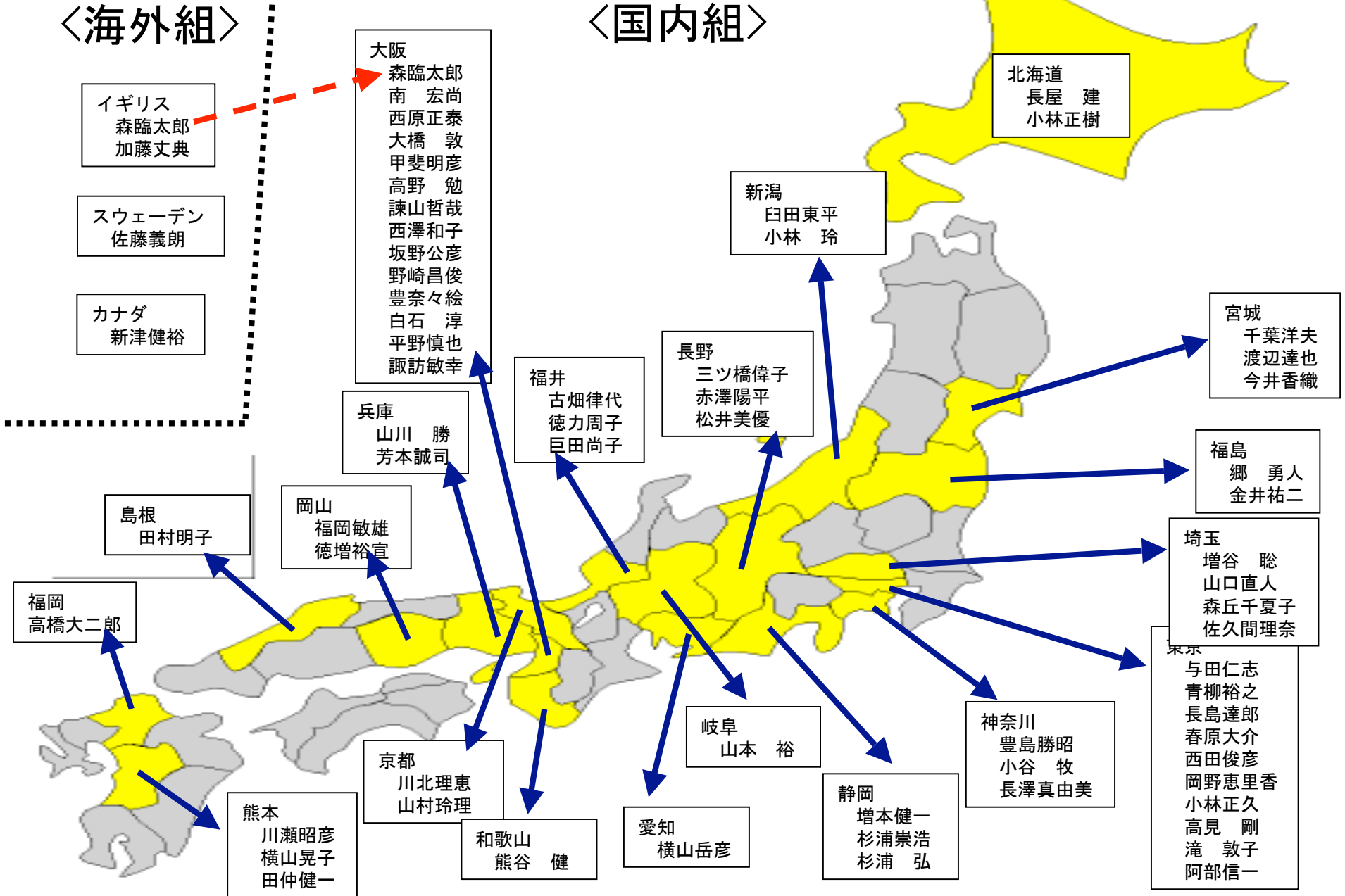
和歌山
熊谷 健

岐阜
山本 裕

愛知
横山岳彦

静岡
増本健一
杉浦崇浩
杉浦 弘

神奈川
豊島勝昭
小谷 牧
長澤真由美



同志 (41施設・66名)

〈海外組〉

イギリス
森臨太郎
加藤丈典

スウェーデン
佐藤美帆

カ

〈国内組〉

大阪
森臨太郎
南 宏尚
西原正泰
大橋 敦
甲斐明彦
高野 勉
諫山哲哉
西澤和子

新潟
臼田東平
小林 玲

北海道
長屋 建
小林正樹

チーム名

J-PreP (Japanese Preterm PDA)

ガイドラインチーム

田村明子

福岡 徳増裕宣

埼玉
増谷 聡
山口直人
森丘千夏子
佐久間理奈

東京
与田仁志
青柳裕之
長島達郎

福岡
高橋大二郎

相互理解と適材適所の協力をめざした!

田仲健一

山形 山形信

山形 山形信

山形 山形信

山形 山形信

山形 山形信

EBMガイドラインに必要な技術者の重用

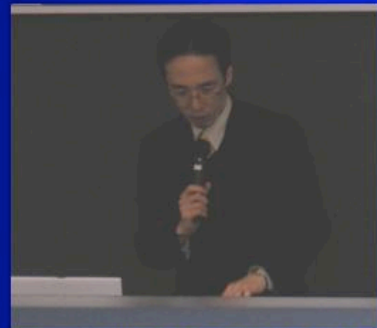


阿部さん (慈恵医大図書館)



諏訪さん (大阪大学図書館)

大学図書館と図書館員



福岡敏雄先生(倉敷中央病院総合診療科)



西田俊彦先生(京都大学大学院)

EBMがわかる医師



南先生



西原先生

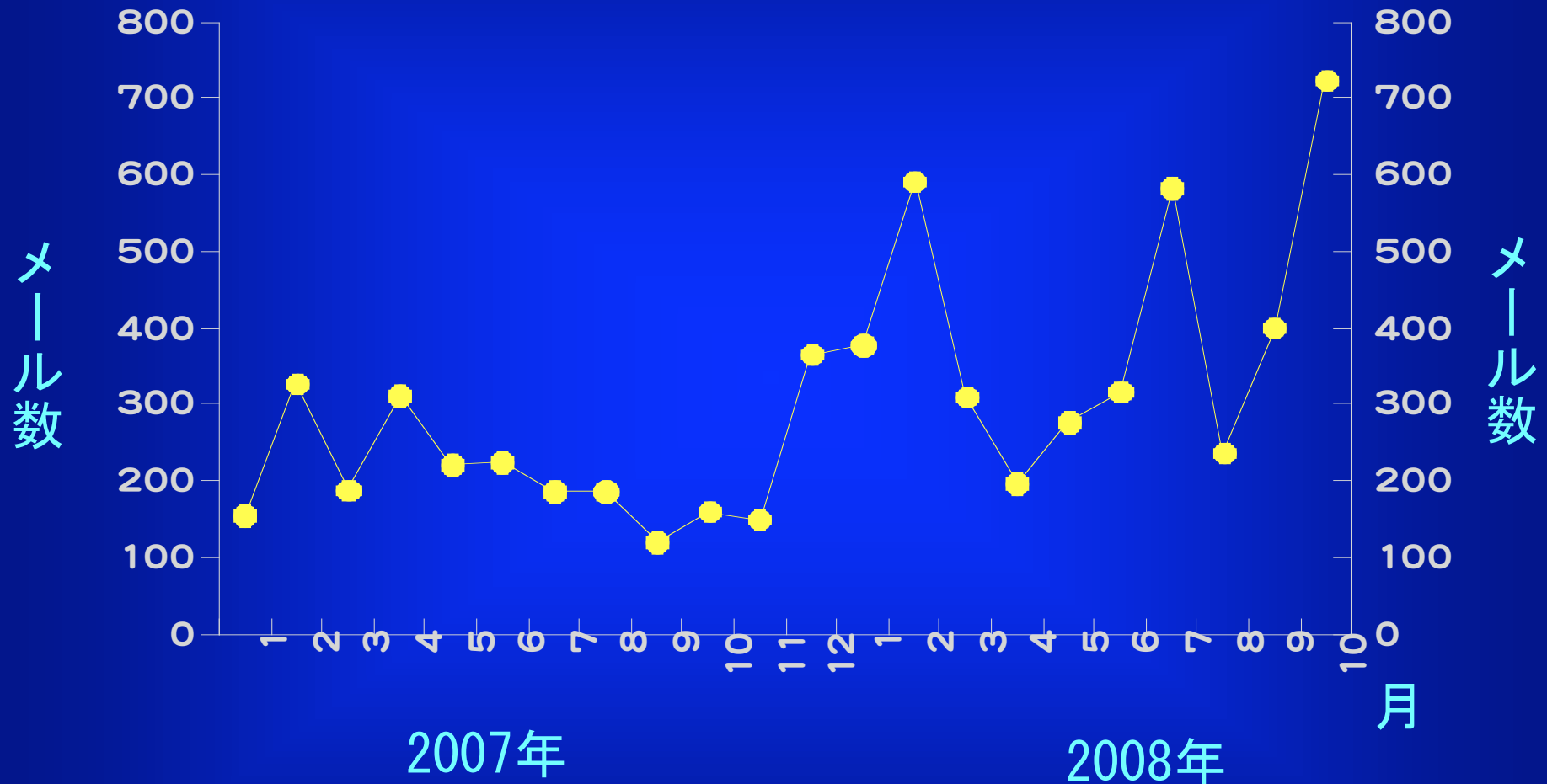
ITに精通した医師

様々な地域、様々な現場で生きる臨床医



人海戦術：EBMとPDAを皆で考える！

専用メーリングリスト



計**6690**メール。昼夜問わず、誰かが作業！

お互い様の助け合い<誰かが忙しければ、誰かがカバー>

プロジェクトリーダー



森臨太郎 (英国国立母子保健共同研究所
→大阪府立母子センター)

ガイドライン作成の船頭！

医学図書館員のボランティア参加



阿部さん (慈恵医大図書館)



諏訪さん (大阪大学図書館)

重要論文を漏れなく見つけるためには
＜医学図書館員＞の参加は不可欠！

EBM勉強会

3月 東京・大阪
4月 京都
5月 福井
6月 名古屋
7月 東京
8月 長野
11月 熊本・倉敷
12月 長野・大阪
1月 岡山・東京
2月 東京
3月 横浜
5月 名古屋
6月 福島
7月 横浜

